

ナンバ

国内外市場での展開強化

国際イベントに招致

冷凍冷蔵設備を取り
扱っているナンバ(長
条約締結国会議COP
岡市、〒0258・4
2・2211)は、冷
凍冷蔵設備におけるフ
ロン漏えいのIoT化
を実現する「フロンキ
ーパー」を国内だけで
なく海外市場への展開
も強化している。す
でに昨年はタイで開
催されたフロンキー
パーは、冷
凍冷蔵設備におけるフ
ロン漏えいのIoT化
を実現する「フロンキ
ーパー」を国内だけで
なく海外市場への展開
も強化している。す
でに昨年はタイで開
催されたフロンキー
パーは、冷

催された気候変動枠組
ムだ。これにより漏え
い量の削減、温度異常
発生前の修理対応、冷
凍機の安定稼働を可能
としている。

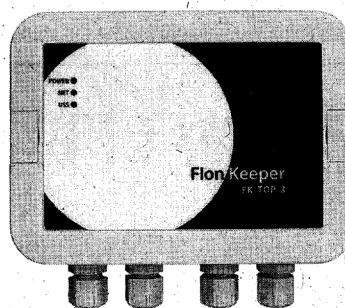
従来、フロン漏えい
が発生した場合に懸念
される、冷凍設備の冷
凍能力低下や電気料金
増加、高まる故障リス
クといった課題を解決
している。

同社が独自に開発し
たフロンキーパーは、
冷凍設備のフロン量を
24時間監視し、漏えい
量約10%の段階で早
り付けることによっ
て、フラッシュガス発

生率、外気温度、液冷
媒温度、吐出温度、吸
入温度、電力量(電流)
などを24時間収集・測
定・監視し、独自のシ
ステムで漏えいを判断
する。収集したデータ
はクラウドに300



MOP36出展時の様子
(難波社長(左))



冷凍設備のフロン量を24時間監視

10分ごとに自動でサ
ーバーへ送信され、ウ
ェブで一括管理できる。
フロンキーパーの特
徴をまとめると「コス
ト削減」「漏えい削減」
「安定稼働」が挙げら
れる。

これらの点が評価さ
れ、今年5月にはイオ
ンディスプレイに300

台以上も販売した。す
でに累計販売台数は1
400台を越す実績を
誇っている。

また難波俊輔代表取
締役社長は、今年7月
にタイで開かれた国連
主催の南アジアへ向け
たセミナーに登壇し
た。難波社長自らが行
動し、環境分野での国
際貢献を積極的にアピ
ールしている点は見逃
せないトピックスだ。
とのわけ、タイでは
現地企業と販売契約を
締結。さらに米国市場
での販売体制も着実に
進めている。今後は、
タイや米国の輸出を足
掛かりに、海外での販

促活動を本格化させて
いく。

2025年の国内で
の活動を振り返ると、
FOOMAの出展を皮
切りに、9月には東京
ビッグサイトで開催さ
れた国際物流総合展2
025に初出展するな
ど精力的な展開を繰り
広げた。26年もFOO
MAや第1回中部食品
産業創造展'26への出展
を予定しており、フロ
ンキーパーや冷凍・冷
蔵システム用省エネコ
ントローラKE2など
の製品展示や同社の近
況、取り組み事例を紹
介していく。